

フローリングのお手入れ法

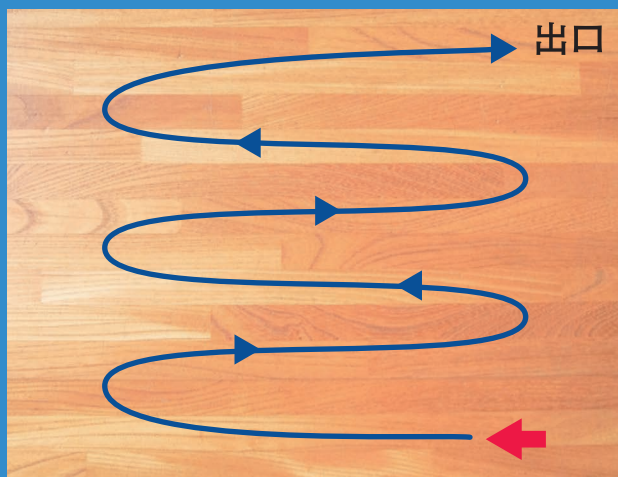
●ニス塗りの床

床の継ぎ目がニスで埋まれば水分がしみ込まなくなるので、普段は水拭きをしておきます。塗り直しは2年に一度程度。

●ワックス塗りの床

塗って乾かすだけのワックスなら、から拭きは不要ですが、1~2カ月に一度は塗り替えが必要です。

<塗る方向>



最後に出口のある場所で終わるようにしましょう。

●道具の後始末

刷毛がニスが固まらないようにするために、水が入ったバケツか缶の中に刷毛を吊り下げておきます。次に使用する時は水を切ってから使います。

子供やペットのいる家庭は特に注意しましょう!

●普段のお手入れ

普段から掃除機やフローリングワイパーシートで、ほこりや汚れを取り除きましょう。汚れがついた時は、すぐに拭き取ることが大切です。

準備

フローリングにワックスを塗る時に必要なもの



①床用ワックス ②ワックス剥離材 ③スポンジ ④フローリングワイパー
⑤ワックスシート ⑥ぞうきん

フローリングの補修時に必要なもの



補修ペン



補修テープ



⑦補修クレヨン ⑧スプーン ⑨ライター



フローリングのお手入れ

Q. 床に付いた傷、うまく補修できるかな?

YES!

A. 簡単に補修できます。また、ワックスをかけて傷、汚れから守ることも大切です。



- フローリングの補修
- フローリングにワックスを塗る
- フローリングのお手入れ法
- 必要なもの

やってみよう!

フローリングの補修

浅い傷には ペンタイプの補修材



1 床に合う色を選び、周りの木目に合わせて着色します。



2 着色した部分を指で軽く撫でてぼかし、周りになじませます。

すり傷やあて傷をスピーディに解消。来客前にぜひやってみましょう!



補修テープ

もっと簡単に…という方には傷部分に合うサイズに切って貼るだけの便利な木目調の補修テープもあります。ただし、テープの色は慎重に選びましょう。

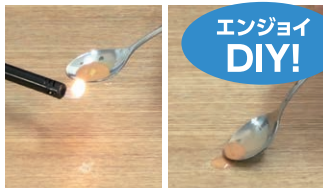
深い傷には クレヨンタイプの補修材

大きな傷もあきらめないで。意外と簡単に補修できます。



塗るだけでOK!

補修箇所の色に合わせて色を選びます。傷に対して垂直に傷や穴にすり込み、ヘラ・定規などで傷に対して平行にこすりとり、乾いた布で周囲だけを拭きとります。



エンジョイDIY!

色を混ぜたい場合は、スプーンとライターを使って混ぜたい色のクレヨンを溶かします。溶かしたら傷部分に注ぎ、完全に冷めたらはみ出た部分をヘラ・定規でこすりとります。

▲凹み傷もしっかりカバー。

色を決める際には、深い傷の場合には淡めの色を、浅い傷の場合には濃いめの色を選んでください。広い面で傷が付いた場合はクレヨンタイプで補修した後、木目に近い色のペンタイプで木目を書くように目立たなくなります。

フローリングにワックスを塗る

汚れや古いワックスをとります。



掃除機でホコリを吸い取った後、ぞうきんがけをします。ワックスがけをしたことのある床なら「ワックスはく離剤」で古いワックス分を拭きとることが必要です。壁際などワックスが付いてほしくないところは、マスキングテープを使って保護します。

準備完了!いよいよワックスがけです。液剤を使って塗る



液剤の場合はぞうきんを使います。床に直接かけずに、ぞうきんにワックスをしみ込ませます。肌の弱い方は、手袋をつけることをおすすめします。

持続期間	長い
作業時間	長い



ワックスがけは、天気の良い日に行いましょう。ワックスを塗った後、早く乾くことがきれいに仕上げるポイントです。雨の日や天候が悪い日は避けましょう。



ワックスシートを使って塗る



ワックスシートで塗る場合は、お手持ちのフローリングワイパーにシートをセットするだけで、簡単です。

持続期間	短い
作業時間	速い



ポイント

- ・板目に沿って、一定方向に塗っていきます。
- ・力をいれてゴシゴシせず、軽く塗り広げます。
- ・初めてワックスを塗る場合は、2度塗りしましょう。1回目乾いてから、再び重ね塗りとすると耐久性が増します。